「日本在宅ケア学会誌」
Journal of Japan Academy of Home Care
投稿規程

1．本誌への投稿は，筆頭著者は本会会員に限ります．共著者は非会員でも可能です．ただし，非会員を共著者に含む論文は，採択後に掲載料を支払う必要があります．請求から 2 週間以内に振り込み，入金確認後に，著者校正をお送りし掲載となります．
2．投稿する原稿は，未発表のものに限り，他で審査中あるいは掲載予定となっているものは，本誌への投稿・発表を認めません．また，投稿者および共著者が収集したデータ・事例・資料等に基づいた別の論文等がある場合は，現在査読中のものも含め投稿時に添付して下さい．
3．原稿の種類は，①総説，②原著，③研究報告，④実践報告から選択して下さい．査読の審査にあたり，投稿者が投稿時に記した論文の種類を尊重し審査することといたします．ただし，投稿者が希望する原稿の種類には適合しないが，論文の内容が本誌に掲載する価値があると判断できる場合は，原稿の種類の変更を提案する場合があります．投稿時の論文の種類につきましては，慎重に選択して下さい．
4．投稿は，オンライン投稿です．日本在宅ケア学会ホームページ（http://www.jahhc.com/）よりオンライン投稿システム「ScholarOne Manuscripts™」にアクセスし，投稿指示に従って投稿して下さい．
5．投稿原稿の受付日は，オンライン投稿画面での受付日です．ただし，投稿原稿に不備がある場合は，返却修正を求め，再投稿された日をもって受付日とします．
6．掲載決定後は，最終原稿を Word・Excel 等のファイルとして保存し，編集部まで E-mail にてお送り下さい．
7．投稿原稿掲載の可否は，査読委員の審査をふまえ，学会誌編集委員会（以下「委員会」）が決定します．
8．本誌に掲載された論文の著作権は，日本在宅ケア学会に帰属します．ただし，著者自身が使用する場合はこの限りではありません．
9．掲載論文等については，学会において電子化の上，公開や配布をします．
10．原稿執筆の様式は，「執筆要項」に従って下さい．
11．倫理的問題に関しては，以下の 1）～ 3）を含め，倫理綱領に則って記述して下さい．
　1）文献やデータならびに設問など資料の引用・出典の明示
　2）差別用語等倫理的問題となりそうな用語
　3）調査対象者への研究趣旨説明や協力同意の取り付けの有無
12．著者校正は 1 回のみとし，校正の際の加筆は原則として認めません．
13．掲載論文については，掲載誌 2 部を進呈いたします．別刷りをご希望の場合は，実費作製いたします．校正の際にお申し込み下さい．編集委員会より修正を求められた投稿原稿はできる限り速やかに再投稿して下さい．返送の日より 6 か月以上経過して再投稿された場合は，原則として，新規投稿として扱うことになります．なお，返送から 6 か月以上経過しても連絡がない場合は，投稿を取り下げたものとみなし原則的に原稿を処分させていただきます．
14．以下の要件のいずれかを満たし，かつ，迅速査読を希望する投稿に対して，迅速査読を行います．迅速査読が認められた論文は，その日から原則 30 日以内に査読結果を通知します．これは修正投稿時も同様です．なお，迅速査読は当該論文の迅速な採用受理を意味するものではありません．迅速審査を希望するものは，オンライン投稿システムにその旨を入力し，迅速審査申請書（書式あり）と必要に応じて要件を満たすことを証明する書類を添付して下さい．
　1）筆頭著者が当該の投稿論文が各教育機関において，博士号の学位審査の申請時に義務付けられている査読誌に掲載，もしくは受理された論文に該当するものであること．主論文，副論文，参考論文，関連論文などと称される各機関において，学位審査の申請時に必要な論文はすべて対象とします．
　2）筆頭著者が博士論文として審査された論文に基づく投稿論文であり，平成 25 年文部科学省令第 5 号により博士号取得後 1 年以内に公表することが求められているものであること．

●お問合せ先
「日本在宅ケア学会誌」編集部
〒 100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1　パレスサイドビル　㈱毎日学術フォーラム内
TEL：03-6267-4550　FAX：03-6267-4555　E-mail：maf-jahc@mynavi.jp

2023 年 7 月 22 日改訂
2025 年 7 月 26 日改訂

掲載料について

- 採択された際，非会員を共著者に含む場合には，掲載料として非会員一人につき 5,000 円を徴収する．
- 掲載料の支払いは，学会事務局からの請求により行い，振り込み手数料は本人負担とする．

Presented by Medical*Online

論文の種類について

○総説（Review Article）：在宅ケアに関わる特定のテーマについて多面的に内外の知見を集め，また文献等をレビューして，当該テーマについて総合的に学問的状況を概説し，考察した論文
○原著（Original Article）：在宅ケアに関する内容で，適切な方法論に基づいて実施され，創造性があり新しい知見が認められる論文
○研究報告（Research Report）：在宅ケアに関する研究結果の意義が大きく，在宅ケアの発展に寄与すると認められる論文
○実践報告（Practical Report and Case Study）：在宅ケアに関する実践報告・ケーススタディ

「日本在宅ケア学会誌」執筆要項

1．原稿（総説，原著，研究報告，実践報告）は，A4判，横書き，1頁40字×40行とし，本文，注，文献，図，表，写真すべて含めて8枚以内〔次項2-1），2）を除く〕を厳守してください．図表（文字は原則9ポイント）は1点につき，大・1枚，中・1/2枚，小・1/4枚として換算してください．
2．投稿に際しては，以下の投稿用原稿をWord・Excel等にてオンライン投稿システムにアップロードしてください．（以下に含まない，著者の氏名，所属，連絡先等は，オンライン投稿画面において入力いただきます）．
　1）和文抄録：無記名で，①和文タイトル，②和文抄録（400字以内），③キーワード（5語以内），④原稿の種類．
　2）英文抄録：無記名で，⑤英文タイトル，⑥英文抄録（300語以内），⑦英文キーワード（5語以内）．実践報告については，英文抄録，英文キーワードを必ずしもつける必要はありませんが，英文目次を作成する必要性から英文タイトルは必ずオンライン投稿画面に入力してください．
　3）本文：無記名で，⑧本文（本文，注，文献）．
　4）図表：無記名で，⑨図表（写真はWordへ貼り付け，もしくはPowerPoint，tifデータなどで作成）．（本文，注，文献，図，表，写真は，枚数換算のうえ，40字×40行×8枚以内に収めてください．8枚を超える場合は，投稿前に「日本在宅ケア学会」編集部にご連絡ください．編集委員会で検討し，対応について回答します）．
　なお，本文頁には必ず通し行番号，頁下中央部には頁番号を付してください
3．本文中の氏名，所属，倫理審査機関名，謝辞のほか，著者を特定することのできる事項は伏せて記載してください．
4．図表は，本文とは別に1葉ごとにA4判に作成し，必ず図表の挿入箇所を本文に明記してください．なお，特別の作図などが必要な場合には，自己負担を求めることがあります．
5．文章の形式は，新かなづかい，常用漢字にてお書きください．
6．本文の見出し順位は，原則として以下のとおりとしてください．
　Ⅰ．Ⅱ．Ⅲ．……
　1．2．3．……
　1）2）3）……
　(1) (2) (3) ……
　(a) (b) (c) ……
　① ② ③ ……

Presented by Medical*Online

7．引用文献は，次のとおり記述してください．

1）文献は日本語，外国語を問わず引用順に 1)，2)，3) ……，と番号を付けて文末にリストを記載してください．また，本文中の引用箇所に 1)，2)，3) ……，と肩番号を付してください．

2）文献リストの記載方法は下記の例示によってください．

①雑誌の場合　論文著者名：論文名．掲載雑誌名，巻（号）：頁－頁（出版年）．
雑誌名が欧文の場合は，イタリック体，もしくは下線を引いてください．

例 1）日本太郎，新宿花子，在宅太郎，ほか：在宅認知症高齢者のケア．日本在宅ケア学会誌，**14**(2)：25－32（2010）．

例 2）Nihon T, Shinjuku H, Zaitaku T, et al.：The measurement of life satisfaction. *Journal of Japan Academy of Home Care*, **14**(2)：25－32（2010）．

②単行本の場合

（1）著者名：書名．版数，頁－頁，出版社名，発行地（出版年）．

例 1）日本太郎，日本花子，在宅太郎，ほか：高齢者の睡眠と健康．第 2 版，15－26，ワールドプランニング，東京（2010）．

例 2）Nihon T, Nihon H, Zaitaku T, et al.：Aging and cognitive processes. 2nd ed., 15－26, World Planning, Tokyo（2010）．

（2）著者名：論文名．（編者名）書名，頁－頁，出版社名，発行地（出版年）．

例 1）日本太郎，日本花子，在宅太郎，ほか：高齢者の在宅ケアに関する実態調査．（神楽坂二郎, 新宿三郎編）在宅ケア全集第 7 巻, 255－284, ワールドプランニング, 東京 (2010)．

例 2）Nihon T, Nihon H, Zaitaku T, et al.：A present situation of home care for elderly. In The hand-book of home care, eds. by Kagurazaka J, Shinjuku S, Vol. 7, 255－284, World Planning, Tokyo（2010）．

③翻訳書の場合

原著者名：書名（版）．頁－頁, 出版社名, 発行地, 出版年（訳者名, 訳書のタイトル, 出版社名, 発行地，訳書出版年）．〈原典の書名，雑誌名はイタリック体，もしくは下線を引く〉

例）Nihon T, Nihon H, Zaitaku T, et al.：Homes That Help. 25－30, Jam Press, New York, 2008（神楽坂太郎，牛込二郎，四谷三郎，ほか訳，認知症高齢者のための住環境；在宅介護とは，ワールドプランニング，東京，2010）．

④ホームページの場合

著者名：タイトル（URL アドレス，検索年月日）．

例）厚生労働省：平成 20 年度介護サービス施設事業所調査結果の概況（http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/kaigo/service08/index.html，2010.3.15）．

［注］ i．引用の場合には，出版社名の前，もしくは雑誌巻（号）の後に引用頁数を記載．

ii．著者あるいは編者は，4 名以上の場合は 3 名まで連記し，それ以上の著者名については “ ほか ” あるいは “et al.” とする．

8．参考文献は，引用文献のあとに，参考文献として著者名のアルファベット順にまとめて掲載してください．記載方法は，文献リストに準じてください．

9．注は，本文中の該当個所の右肩に (1) (2) (3) ……，と順番に番号を付し，本文の後にまとめて記載してください．

10．図表は，図・表ごとに一括して順に番号をうち，図 1，表 1 のように表示してください．図または表の説明，出典等がある場合は，図表の下に必ず明記してください（オリジナルの場合は除く）．

11．掲載にあたっては本誌編集方針に則って，漢字・平仮名表記の別など多少の原稿整理を行います．

Presented by Medical*Online

「日本在宅ケア学会誌」
投稿論文作成チェックリスト

1．投稿規程に関する事項

□ 著者は共著者を含め，全員が日本在宅ケア学会の会員である．
□ 著者・共著者とも，年会費の納入が滞納なく完了している．
□ 投稿料の振り込みが完了している．
□ 倫理的問題に関しては，以下の 1）～ 3）を含め，倫理綱領に則って記述している．
　1）文献やデータならびに設問など資料の引用・出典の明示
　2）差別用語等倫理的問題となりそうな用語
　3）調査対象者への研究趣旨説明や協力同意の取り付けの有無
□ 利益相反の有無を本文中に記載している．
□ 投稿論文に，著者名，所属，倫理審査機関名，謝辞のほか，著者を特定することのできる事項の記載がない．
□ 投稿論文は，未発表の論文である．
□ 投稿論文は，他誌で審査中あるいは掲載予定となっているものではない．
□ 著者および共著者が収集したデータ・事例・資料等に基づいた別論文がある場合は添付している．

2．執筆要項に関する事項

□ 投稿論文は，A4 判，横書き，40 字× 40 行＝ 1,600 字／ 1 枚を用いて作成のうえ，図表も含めて 1 つの PDF ファイルとして保存している．
□ 投稿論分 1 編の枚数および文字数は，本文，注，文献，図，表，写真を含めて 8 枚（12,800 字）以内である（枚数については，図，表，写真の数によりこの限りではない）．
□ 図，表，写真は，大きさにより以下の文字数で換算している．
　・大　A4 判用紙 1 枚：1,600 字
　・中　A4 判用紙 2 分の 1 枚：800 字
　・小　A4 判用紙 4 分の 1 枚：400 字
□ 和文抄録は 400 字以内，英文抄録は native チェックを受けた 300 語以内である．
□ 和文抄録には，5 語以内のキーワード，英文抄録には，5 語以内の Key words を付している．
□ 和文抄録と英文抄録の内容は合っている．
□ 本文頁に通し行番号，頁下中央部に頁番号を付している．
□ 本文の見出し順位は，原則として以下のとおりになっている．
　Ⅰ．Ⅱ．Ⅲ．……
　1．2．3．……
　1）2）3）……
　(1) (2) (3) ……
　(a) (b) (c) ……
　① ② ③ ……
□ 文献の表記方法は，執筆要項に沿っている．
□ 図，表は原則 9 ポイントで作成している．
□ 図，表，写真は，図 1，表 1，写真 1 などの番号を付し，本文とは別に 1 葉ごとに A4 判に作成し，挿入個所を本文に明記している．

Presented by Medical*Online